

# (一社) 愛媛県バスケットボール協会定款

---

## 第1章 総 則

(名称)

**第1条** この法人は、一般社団法人愛媛県バスケットボール協会と称する。

(事務所)

**第2条** この法人は、主たる事務所を愛媛県松山市に置く。

(目的)

**第3条** この法人は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」という）に加盟し、愛媛県におけるバスケットボール競技界を統括し、愛媛県内のバスケットボールの普及及び振興を図り、バスケットボールを通じて県民の心身の健全な発達に寄与する。

(事業)

**第4条** この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) バスケットボールの普及・振興のための事業
- (2) バスケットボールの競技力向上のための事業
- (3) バスケットボール指導者及び審判員の育成と養成
- (4) バスケットボールに関する大会及び競技会の開催
- (5) バスケットボールに関する記録の編集及び情報の収集と提供
- (6) チームおよび競技者の登録に関すること
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(加盟義務)

**第5条** この法人は、愛媛県を代表とする唯一の団体として、JBA および四国バスケットボール協会に加盟する。

(遵守義務)

**第6条** この法人は、JBA の定款、基本規程およびこれに付随する諸規程ならびに国際バスケットボール連盟（以下「FIBA」という）およびFIBA ASIA の諸規程ならびにスポーツ仲裁機構（以下「CAS」という）および一般社団法人日本スポーツ仲裁機構（以下「JSAA」という）の仲裁関連規則のほか、JBA、FIBA、FIBAASIA、CAS および JSAA の指示、指令、命令、決定ならびに裁定等を遵守する義務を負う。

## 第2章 会 員

(法人の構成員)

**第7条** この法人に、次の会員を置く。

- (1) 正 会 員 この法人の目的に賛同して入会した者
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体及び個人

## (一社) 愛媛県バスケットボール協会定款

---

- 2 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という）上の社員とする。

（入会）

**第8条** この法人の会員になろうとする者は、理事会の定める入会等に関する規定に基づき入会手続きを行い、その承認を受けなければならない。

（経費の負担）

**第9条** 会員は、この法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

- 2 会員は総会において別に定める会費を納入しなければならない。

- 3 既納の会費は、いかなる事由があっても返還しない。

（退会）

**第10条** 会員は、理事会が定める入会等に関する規定に基づき退会届を提出することにより、いつでも退会することができる。

（除名）

**第11条** 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。この場合において、この法人は、当該会員に対し、総会の1週間前までにその旨を通知し、議決の前に弁明する機会を与えなければならない。

(1) この定款その他の規則に違反したとき。

(2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

- 2 前項により除名が決議されたときは、当該会員に対し通知するものとする。

（会員の資格喪失）

**第12条** 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 第9条の支払い義務を半年以上履行しなかったとき。

(2) 総正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

## 第3章 総会

（構成）

**第13条** 総会は、全ての正会員をもって構成する。

- 2 前項の総会をもって一般法人法上の社員総会とする。

（権限）

**第14条** 総会は、次の事項について決議する。

(1) 会員の除名

(2) 理事及び監事の選任又は解任

(3) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認

## (一社) 愛媛県バスケットボール協会定款

---

- (4) 定款の変更
- (5) 解散及び残余財産の処分
- (6) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項  
(開催)

**第 15 条** 総会は、定時総会として毎事業年度終了後 3 箇月以内に 1 回開催するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。

(招集)

**第 16 条** 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の 5 分の 1 以上の議決権を有する社員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

**第 17 条** 総会の議長は、会長がこれに当たる。

(議決権)

**第 18 条** 総会における議決権は、正会員 1 名につき 1 個とする。

(決議)

**第 19 条** 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の議決権の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令に定められた事項

(書面決議等)

**第 20 条** 総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって決議することができる。

- 2 前項の場合における第 19 条の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

(議事録)

**第 21 条** 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した会長及び副会長は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

## 第 4 章 役 員

## (一社) 愛媛県バスケットボール協会定款

---

(役員の設置)

**第22条** この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事15名以上30名以内
- (2) 監事2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とし、会長をもって一般法人法上の代表理事とする。
- 3 理事のうち1名以上3名以内を副会長とし、副会長をもって一般法人法上の代表理事とする。
- 4 理事のうち1名を専務理事、2名以内を副専務理事、10名以内を常務理事とし、専務理事、副専務理事、常務理事をもって、一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

**第23条** 理事及び監事は、総会において正会員の中から選任する。

- 2 前項の規定にかかわらず、総正会員の議決権の過半数の同意により、正会員以外の者から選任することができる。
- 3 会長、副会長、専務理事、副専務理事、常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 4 理事のうち、理事いずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他法令で定める特別の関係がある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。
- 5 ほかの同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして法令で定める者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

(理事の職務権限)

**第24条** 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人の職務を執行する。

- 2 会長は、この法人を代表し、その業務を統括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
- 4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、理事会の決議に基づき、この法人の業務を執行する。
- 5 副専務理事、常務理事は、理事会において別の定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 6 会長、副会長、専務理事、副専務理事、常務理事は、毎事業年度に4か月を超える間隔で2回以上、職務執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

**第25条** 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を監査することができる。

## (一社) 愛媛県バスケットボール協会定款

---

(役員の任期)

**第26条** 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任は妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

3 役員は、辞任又は任期満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(役員の解任)

**第27条** 役員は、その地位にふさわしくない行為があったときは、総会において、総正会員の半数以上で総正会員の議決権3分の2以上に当たる多数をもって解任することができる。

(役員の報酬等)

**第28条** 理事及び監事は無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、総会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を総会の議決を経て、報酬、賞与その他職務執行の対価としてこの法人から受ける財産上の利益として支給することができる。

## 第5章 理事会

(構成)

**第29条** この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

**第30条** 理事会は、次の職務を行う。

(1) 総会の日時及び場所並びに会議の目的事項の決定

(2) 規則の制定、変更及び廃止に関する事項

(3) 前各号に定めるもののほかこの法人の業務執行の決定

(4) 理事の職務の執行の監督

(5) 会長、副会長、専務理事、副専務理事、常務理事の選定及び解職

(招集)

**第31条** 理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。

(決議)

**第32条** 理事会の決議は、決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

## (一社) 愛媛県バスケットボール協会定款

---

(議事録)

**第33条** 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 出席した会長、副会長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

### 第6章 資産及び会計

(事業年度)

**第34条** この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

**第35条** この法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

(事業報告及び決算)

**第36条** この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て、第1号については、定時総会に報告し、第3号及び第4号までの書類については定時総会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

2 前項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くものとする。

3 定款については主たる事務所に備え置くものとする。

(剰余金分配の禁止)

**第37条** この法人は、剰余金を分配することができない。

### 第7章 顧問及び参与

**第38条** この法人に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、理事会の推薦により会長が委嘱する。

3 顧問は、重要事項について、会長の諮問に応じ意見を述べることができる。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、その諮問に応じ意見を述べることができる。



# **(一社) 愛媛県バスケットボール協会定款**

---

## **第 8 章 専門委員会及び事務局**

(専門委員会及び事務局の設置)

**第 3 9 条** この法人の事業遂行上必要があるときは、理事会の決議を経て専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の組織及び運営に関する事項は、理事会で別に定める。
- 3 この法人の事務遂行のために、事務局を置く。
- 4 事務局の運営に関する事項は、理事会で別に定める。

## **第 9 章 定款の変更及び解散等**

(定款の変更)

**第 4 0 条** この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

**第 4 1 条** この法人は、総会の決議その他の法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属等)

**第 4 2 条** この法人が清算する場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、この法人と類似の事業を目的とする他の法人又は国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

## **第 1 0 章 公告の方法**

(公告の方法)

**第 4 3 条** この法人の公告は、電子公告により行う。

## **第 1 1 章 附 則**

(委任)

**第 4 4 条** この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関して必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定める。

(最初の事業年度)

**第 4 5 条** この法人の最初の事業年度は、この法人の設立の日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日までとする。